

第3回「青森競輪経営企画委員会」 — 会議概要

日時：平成24年11月21日（水）15：00～

場所：青森市役所 第3庁舎「1階・会議室A」

出席者

加川委員、佐藤委員、出町委員、中村委員、奈良委員、福士委員 [以上6名]

(五十音順、敬称略)

事務局

企画財政部長 伊藤 哲也、競輪事業所長 内山 儀彦、
競輪事業所主幹 吉田 光秀、競輪事業所主査 高村 謙一、
競輪事業所主査 渡邊 和則、競輪事業所主査 菊池 圭一郎、
競輪事業所主事 工藤 剛 [計7名]

次第

1. 開会

2. 案件

- ・報告
- ・資料2 平成26年度以降の競輪包括委託について
- ・資料3 新場外車券売場の検討にあたって
- ・その他

会議概要

・報告

○事務局からの報告に対し、その後の主な意見は以下のとおり。

<主な意見>

○委員

ガールズケイリンは、登録選手が少ないため出走レース数は少ないが、レース数が増えればファンは増えると思う。

・資料2 平成26年度以降の競輪包括委託について

○事務局からの説明に対し、その後の質疑応答及び主な意見は以下のとおり。

<質疑応答>

○委員

現在7年という委託期間だが、その期間は妥当だったのか、他は6年や長いので8年もあるかどうか。

●事務局

今回の7年は、市は妥当だったと思う。受託者側もプラス転換になっていく想定の前算であったと伺っているため妥当だったと思う。

また、今の傾向は、受託者側では長期間での契約の提案はしない状況であり、他の施行者でも長い期間で5年と伺っているが、市としては今回と同じ7年を目標としたい。

○委員

現在の包括委託料は妥当な金額なのか。

●事務局

現在の委託料が妥当かどうかは市で判断できないが、車券売上を増加させることが委託料の増加につながることから、受託者は車券売上の増加につながるよう広報宣伝などに努めている。

車券売上が増加せず、委託料が同じ、または伸びないということであれば、利益を出すために経費を切り詰めるなどの取り組みを行うことが、包括委託の特徴の一つであると思われる。

○委員

直営にした場合どういうメリット、デメリットがあるのか。また、競輪場の運営を直営に戻すことにより、今より収益は上がるのではないか。

●事務局

直営にした場合、職員を増員する必要があること、さらに施設、機器が故障した場合など緊急時に速やかに対応できなくなる。現在は、委託契約をしている日本トーター（株）の裁量の中で速やかに対応している。

また、日本トーター（株）は、全国に展開していることから、会社のノウハウを一元化し情報の共有化により情報を多く持っている。市が直営とした場合には情報が少なくなり、

単独で持っている運営のノウハウのみになる。

<主な意見>

○委員

包括委託を実施した目的は、コスト削減と民間ノウハウの活用であり、包括委託により経営が安定したことから、次回も包括委託を継続すべきと思う。

○委員

包括委託の期間は、経験を踏まえた年数、現在の契約と同じ7年契約にした方が良いと思う。

○委員

包括委託業者の選定に当たっては、一者随意契約ではなく複数業者がある中で総合的に判断する企画提案方式が望ましい。

<結 論>

- 包括委託については、継続とする。
- 委託期間は、7年間を目標とする。
- 契約相手の選定方法は、企画提案方式とする。

・資料3 新場外車券売場の検討にあたって

○事務局からの説明に対し、その後の質疑応答及び主な意見は以下のとおり。

<質疑応答>

○委員

新場外車券売場はアウガなど青森駅前周辺地区にすべきではないか。

●事務局

新場外車券売場の設置については、経済産業大臣の許可が必要であり、その要件としては「文教上又は保健衛生上著しい支障をきたすおそれのない場所」と定められている。アウガの中には市の図書館があることから、経済産業大臣から許可がおりない可能性があるため、市議会で答弁している。

<主な意見>

○委員

新場外車券売場は、車券を買う側としては東西に国道が通りバス路線の結節点で青森駅にも近い、古川地区が建設に理想的な場所である。

○委員

新場外車券売場は、青森駅前周辺地区や古川地区なども含めた中心市街地に建設することにより、利用者が長時間滞留して中心市街地の活性化に寄与できると思う。また、建設に際しては、建設場所の地域住民や広く市民の理解を得ることが重要であり、そのためには建設される地域や市民、市にとってメリットがなければならない。

○委員

新場外車券売場は、今回示された候補地の中では青森駅前周辺地区の八甲田丸周辺に建設することが反対意見も少なく最適だと思う。

○委員

土地取得などの問題はあるが、現在、安方前売サービスセンターを利用している方の利便性や公共交通の便を考えると、新場外車券売場は青森駅前周辺地区か古川地区建設しかない。

○委員

色々な方からの意見を聞いた上で整理して意見を述べたかった。もう少し時間をいただいて、関係者の意見を聞いて報告したい。

※当該意見は参考意見として取り扱うこととした。

<結 論>

- 新場外車券売場の設置については、青森駅周辺地区、古川地区の二地区で検討を続ける。

・その他

●事務局

次回の開催に向け、事務局で詳細な検討を行なった上で、委員長と相談の上、進めた方を検討する。

(文責：競輪事業所)